



吉備中央町 議会だより



82号

令和8年7月20日発行
発行／岡山県吉備中央町議会
編集／議会広報編集委員会

学びを力に、未来へ



加賀中学校修学旅行

定例会	賑わい複合施設の基本設計	2
一般質問	ここが聞きたい「重森三玲氏の顕彰活動」	5
ピックアップ	中学生向け「議会自習室」を開設	13

吉備高原賑わい複合施設の 基本設計に300万円

6月定例会

6月定例会は、6月1日から6月19日までの19日間にわたって開会されました。

町長から条例の改正5件、報告2件、専決処分の承認4件、請負契約の締結1件、令和8年度一般会計及び特別会計（介護保険・下水道事業）の補正予算、また議員発議により、傷病などで町議会議員が長く議員活動ができない場合に報酬を減額する議案が上程されました。最終日には条例の改正1件、発議1件が追加上程され、各議案は審議の結果、原案どおり全会一致で可決・承認され閉会しました。

一般会計補正予算

第2号補正予算は、歳入歳出それぞれ1555万9千円を増額し、総額103億1055万9千円。主な内容は吉備高原賑わい施設設計業務委託、旧下竹荘小学校体育館の活用に向けた外壁塗装整備事業など。

主な質疑

Q 旧下竹荘小学校体育館の改修工事内容及び工期はいつまでか。

A 主に体育館の外壁塗装等の工事を実施し、工期は令和9年1月末を予定している。



吉備高原都市

Q 吉備高原賑わい施設設計業務の内容は何か。
A 施設の実施設設計ではなく、今後の国への申請関係の概要的な設計である。

補正予算（第2号）の主な事業

施設改修事業	旧下竹荘小学校体育館外壁塗装等工事	3,490万円
情報システム導入修正業務	マイナンバーを活用して自治体や医療機関などをつなぐ情報連携システムの導入修正業務	431万2千円
吉備高原賑わい施設設計業務	複合的な買い物施設の基本設計業務委託費	300万円

専決報告（主なもの）

○吉備中央町税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、町民税の各種税額控除の特例期間の延長、軽自動車税環境性能割の廃止。

○吉備中央町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令等の一部改正に伴い、新たに「子ども・子育て支援納付金」に関する規定の整備。

条例の制定・改正（主なもの）

○吉備中央町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例

議会議員が傷病その他の事由により長期間にわたり議員として職責を果たすことができない場合、活動ができない期間に応じ報酬及び期末手当を減額する条例の制定。公布の日から施行

○吉備中央町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

町立認定こども園の園医、園歯科医の年額報酬を改正。公布の日から施行

請負契約の締結

○加賀南小学校屋内運動場空調設備新設工事

契約金額…5449万4千円
相手方…真庭市上水田3130番地1 ワイテック工業株式会社

主な質疑

入札に際して何社から入札があったのか。

一般競争入札で3社から入札があった。

エアコン8基の個別での運転は可能なのか。

個別運転は可能である。



加賀中学校体育館エアコン

陳情

※加賀東小学校及び加賀西小学校の屋内運動場空調設備工事については、いずれも5千万円未満のため議会上程はありませんでした。

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるため、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

↓採択

最終日に議員発議により「教職員定数改善と義務教育国庫負担率引き上げに係る意見書」を国に対し意見書の提出決議を可決した。

条例改正（追加上程）

○吉備中央町介護保険条例の一部を改正する条例

令和7年度の住民税非課税者のうち、非課税の基準から控除の引き上げ分の範囲の就労調整（就労収入）の増加をおこなう場合、令和8年度も住民税が非課税となるよう、当該者の介護保険料を令和8年度に限り減免するよう改正。

ここに注目

令和12年の開業を目指し、吉備高原都市で複合施設の整備計画が進められています。

要チェックです！



どこで	吉備高原
何をつくる	買い物機能を中心とした複合施設
目的	買い物環境を充実させ、人が集まる拠点をつくる
今回の予算	建設費ではなく、補助金申請や審査会に必要な概要設計費（300万円）
今後	協議会で施設内容を検討し、その内容を反映して概要設計を進める。 その後、実施設計・建設へと進む予定。

9議員が一般質問 / ここが聞きたい

令和8年6月15日および16日

ページ	議員名	質問要旨
P5	河上真智子	ケアラー支援条例 吉備高原学園高校へのサポート 重森三玲氏の顕彰活動
P6	山崎 誠	買い物施設の設置見通しと進展 道の駅・かよの整備 大金鶏菊の繁茂と対処 町長の公職選挙法違反報道
P7	丸山 節夫	農業政策の取り組み
P8	平澤 一浩	防災協定 部活動地域移行と遠征等における安全確保 吉備中央町海外派遣等支援事業実施規則 規則第21号
P9	黒田 員米	物価高騰対策給付金に係る生活保護制度上の収入認定運用 「待ち下校」における管理責任の区分 協働でひらく新たなまちづくり実践事業補助金の見直し
P10	我妻 瑛子	ふるさと納税制度復帰に向けて 複合的な買い物施設の整備 きびアプリによる買い物サービス 町長の書類送検の報道を受けて
P11	日名 由香	旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校移転後の危機管理体制 放課後児童クラブの運営 共催及び後援の運用
P12	渡邊 順子	ごみ回収 閉校小学校備品
P13	片岡 昭彦	地球温暖化対策への取り組み

かわかみ まちこ
河上真智子

Q

「重森三玲」顕彰活動支援は

A

様々な面からの支援を検討

Q

町の偉人である
作庭家重森三玲氏
の記念館は、吉川地区の有
志ボランティアの活動に支
えられている。しかし、高
齢化により後継者不足に直
面している。今後は、行政
をはじめ多方面からの支援
が必要ではないか。

A

中山教育委員会
事務局長

各関係機関と連携しなが
ら、将来にわたって知見を
有する地域の方々による活
動が、意欲的に継続できる
方策を研究していきたい。

Q

町内には天籟庵
や友琳の庭をはじめ
め多くの作庭が存在してい
る。しかし、町外からの来
訪者は、移動手段に不便さ
を感じているのではないか。

A

早川総務課長

駅や空港からの
移動の不便さの解消に加
え、町内の移動への配慮も
必要だと認識している。関
係事業者との協議や近隣市
と連携した観光面からのア
プローチも研究しながら、
実現可能な利便性向上に努

Q

若い世代にも受
け入れやすく、S
NSを通じての配信で多く
の人の目に留まりやすい利
点を考え、アニメーション
作成が企画されている。費
用面での協力を希望されて
いる。

A

山本町長

町内の文化財を
残すのはとても大事な活動
である。それを地域の方が
率先してされるのもありが
たい話である。前向きに検
討していきたい。

Q

賀陽庁舎の「友
琳の庭」の景色を
来訪者にもより堪能してい
ただくために、2階渡り廊
下への案内表示や解説用D
VDの放映などを検討して
ほしい。

A

総務課長

この庭を目的に
訪れる方は少なからずい
る。渡り廊下からの景観
を楽しんでいただけるよ
うに、案内表示やデジタ
ルサイネージを利用した
DVD放映の表示方法や、

費用面などの検討を進めて
いきたい。



「友琳の庭」

Q

来年度から町内
在住の学生に限定
した「通学制」が認められ
た。学生は、長時間の通学
の負担がなくなり、部活動
や学習に取り組むことがで
きる。保護者にとっても送
迎や弁当作りなどの負担が
減る。この制度開設への思
いはどうか。

吉備高原学園高校

A

大月協働推進課長

高校は、ふるさと納税制度への復帰後、クラウドファンディング型ふるさと納税を希望されている。町の主要施策との適など諸条件はあるが、町内唯一の高校として様々な支援を検討していく必要がある。

A

町長

今回、通学制の認可を受け、選択肢が増えた。町内で通える学校ができ本当にありがたいと思う。ぜひ進路選択の一助にしてほしい。

Q

町と高校は包括連携協定を結び、

様々な活動を通じて地域との連携を深めている。また、高校側からは町内学生には大幅な負担軽減策も用意されている。高校に対し、町からのサポートはどうか。

他、ケアラー支援条例の質問をした。



やまさき 山崎 まこと 誠

Q 買い物施設は設置されるのか

A 多機能・複合型で検討している

3月初め、新たな買い物施設設置の検討を始める旨の説明があった。具体的にどのような進んでいるのか。①設置を進める協議会の設立。②協議会の構成。③協議の内容と設置期間。④買い物だけの施設か、図書館やカフェ、防災機能など併設した多機能・複合型か。⑤資金の調達方法。⑥施設の場所。⑦運営主体。

A 荒谷定住促進課長
①5月26日「吉備高原複合施設の建設を進める会」を設立。②構成は、議会、商工会、観光協会、地域の公民館長、関係職員、計17人。③令和12年度を目指し既存の施設との相乗効果を生むよう協議している。④買い物だけでなく公共施設も含めた多機能・複合型を考えている。⑤資金は、国の交付金、クラウドファンディング、住民出資など検討。⑥場所は、きびプラザ向い県有地を検討。⑦運営は、法人格を持った特別目的会社を予定。

これまで長く地元を支えてきた地元商工業者と競合が予想される。連携、調整は図られるのか。

A 定住促進課長
競合の発生を避け、相乗効果を目指す。

Q 「道の駅かよう」再整備を

平成20年にオープンし、「道の駅円城」と共に町内外の多くの人に利用されてきたが、駐車スペース、施設への進入路など難点がある。①駐車スペースは現在施設南側の丘を削り、半分ほど平ら



道の駅「かよう」

になっている。舗装、案内板などいつ整備されるのか。②施設は国道484号に面しながら迂回する構造になっている。直接進入できるようにすべきではないか。③開業から26年経過し一部老朽化が見られる。必要な箇所のリニューアルと共に休止している水車の復活、木陰の創出、屋外ベンチの増設など再整備すべき時期ではないか。

A 大月協働推進課長
①土地は半分が県の所有で必要に応じて土を削っている。令和9年度中をめどに残土利用が終了する予定。②歩道周辺は大半が国土交通省の所有で、高低差や傾斜もあり懸念が指摘されている。予算確保ができ駐車場工事が可能となったとき一体的におこなうのが良いと考えている。③これまでトイレの増設など必要に応じ改善してきた。今後利用者や施設を運営する管理者の意見を取り入れ、財政面も考えながら改善に努めたい。

おおきんけいざく
大金鶏菊の繁茂対策

Q 道路沿いや空き地に繁殖力の強い「特定外来生物」大金鶏菊が繁茂している。旭川堤防では、国交省が成長抑制剤を散布する実証実験を実施している。町民に注意喚起をしてはどうか。

A 宮田住民課長
周知するように検討する。

Q 町民への説明責任を

5月25日、公職選挙法違反容疑で町長が書類送検されたと報道され、町民に不信や疑念が広がっている。丁寧な説明と責任をどのように考えているか。

A 山本町長
6月議会初日に表明した気持ちそのままである。それ以上は今回控えたい。

まるやま せつお
丸山 節夫

Q

検証会に対する町長の認識は

A

検討検証の場として活用する

Q

町ふるさと納税検証会がまとめた成果、客観的な指摘事項と政策提言に対する町長の受け止め方と認識は。

A

山本町長

提言書が示す熟知した上での制度運用を目指す。運用面で疑義を生じた場合には、速やかに県へ助言を得るようにすること

を、今一度、心に留め、職員間のチェック体制や、検討検証をおこなう場として、推進会議を積極的に活用する。また、寄附募集に関しては、返礼品の集客前後に一定の規模で分割して運用するなど、返礼品不足の防止対策や、品種の増加など、制度構築につなげる。

Q

制度運用の再構築と再発防止策の現在の動向と今後の進捗は（主に専属組織の新設とチェック体制の強化）。

A

大月協働推進課長

現在、検証会の提言に対する制度構築に向けて、課内協議を深めている。また、チェック体制の

強化では、定期的、二重チェック体制での運用を検討中。専属組織の新設では、組織の職員数への影響から執行部協議の必要がある。

Q

再指定に要する

信頼回復（国・寄付者・生産者）の対策は。

A

協働推進課長

信頼回復に向けては、制度に則った運用を遵守していく。県・国との関係強化を図り、寄付者・生産者に対しては、真摯に接することで信頼回復に努める。

Q

制度復帰には、

国が定める返礼率3割以下が原則となるが、このことは、買い取り条件が厳しくなることに加え、農家収入の減少につながる可能性を含む。農家経営を守るための新たな農家支援策を問う。

A

石坂農林課長

新たな取り組みの検討はしていない。今後は、農業経営を下支えする頑張る農家応援事業補助金を始めとする農家支援策として、協働のまちづくり基

金の財源状況を注視しながら継続していく。

Q

町公式ホームページを活用した、特設のネット販売やオンラインショップの開設による直接販売を試みてはどうか。

A

農林課長

町では独自の通販に特化したサイトを持っていない。特産品を中心としたネット販売は、今後の検討課題としたい。

Q

今日、日増しに急変する物価高騰により、実勢単価が町の積算単価を上回り、自己負担の増額や業者の請負辞退による申請のあきらめなど、本来の制度目的が機能しない現状が見受けられる。

町の農業を支える制度運用に関し、次の3点を問う。①公共工事設計労務単価及び資材単価の積算基準への反映

②種目による補助金限度額の引き上

あんず山
暗渠排水工事

げ

③地域住民が共同施工する場合の適正評価

A

檜寄建設課長

①申請者報告の

事業費と町の最新積算基準に基づき、算出した額のいずれか低い額を事業費としている。

②限られた予算の中で、より多くのみなさんが活用できるように、過去に補助金限度額を引き下げた経緯がある。今後は、昨今の異常な物価高騰の状況も鑑み、農家経営の継続可能な制度改正の検討を進める。

あんず山
暗渠排水工事



ひらさわ かずひろ
平澤 一浩

Q 海外派遣支援事業の理念は

A 創設理念は「忘己利他」
もうこりた

Q 平成5年に策定している吉備中央町海外派遣支援事業実施規則第21号の目的は。

A 大月協働推進課長
国際交流や海外研修を通じて広い視野を持つ人材を育成し、将来地域や社会に貢献する人材を育てること。

Q 現在の活用実績は。

A 協働推進課長
近年の利用実績はなし。現在おこなっている吉備中央町中学生国際交流事業とは直接関係なし。

Q 創設時当初の理念は。

A 岡田副町長
「人の痛みが分かり、他者のために行動できる人材を育てたい（忘己利他の精神）」という思い。

Q 単なる海外体験ではなく、国際貢献やボランティア活動を通じて、心豊かな人材を育成することが原点。制度は継続されるか。

A 副町長
制度を廃止・変更する予定はない。

災害時キッチンカー協定

Q 岡山県キッチンカー協会との協定締結の目的と、派遣要請時の条件は。

A 早川総務課長
災害時に避難所などへキッチンカーを派遣し、温かい食事や多様な食事ニーズに対応することで、被災者や避難者の心身の負担軽減を図る。

また、協定に具体的な日



連携協定締結式

数の定めはない。避難所や、備蓄食料の状況などを総合的に判断し、災害対策本部が必要と判断した場合に要請。

Q 備蓄食との兼ね合いは。

A 総務課長
避難所においては、町が備蓄している保存食や飲料水を活用。災害が長期化し、温かい食事や栄養バランスへの配慮が必要になった段階で、キッチンカーによる支援を想定。

Q 在宅避難者も利用可能か。

A 総務課長
可能な範囲で対応。

Q 訓練は実施する予定か。

A 総務課長
実施が望ましいが、事業者側の事情も考慮しつつ、検討。

Q 部活動の地域展開と安全確保

は。地域展開の課題

A 石井教育長
最大の課題は指導者不足。中山間地域では継続的な指導者確保が難しく、教職員が地域指導者として関わることも含め検討中。

Q 地域展開の開始時期は。

A 中山教育委員会事務局長
令和8年度中、休日の部活動から開始を予定。

Q 生徒の移動や遠征時の安全体制は。

A 教育委員会事務局長
地域展開後も引き続き、大型二種免許を持つ運転員やスクールバス運行事業者により、安全確保に努める。

Q 地域展開後の責任は誰が負うか。

A 教育委員会事務局長
休日地域活動は、学校教育活動ではなく社会教育活動として位置付けられるため、責任主体は町や教育委員会である。

くろだ かずよし
黒田 員米

Q

物価対策給付金の一部返却

A

県と協議で返却はなし

Q

町がおこなった
物価高騰対策給付
金で生活保護世帯の一部対
象者に、県から給付金の一
部返還(生活保護費の減額)
を求められている状況を把
握しているか。

A

古林福祉課長

当初、県から給付金2万円のうち8000円を超える12000円分を臨時収入とみなし、生活保護費を減額するとの通知があった。

その後、町から給付の趣旨を改めて説明・協議をした結果、今回は生活保護費の減額をおこなわないとの回答を得た。

待ち下校の管理責任

Q

①待ち下校の法的・行政的位置づけは。②児童クラブ職員の任用や指揮命令はどの部署か。③一斉下校の必要性は。④学校と児童クラブで児童受け渡し時間の弾力的な運用をすべきでは。⑤運営マニュアル整備、町内連携を

強化すべきでは。

A

中山教育委員会事務局長

①低学年児童がスクールバス発車時刻や高学年の下校時刻まで待機する仕組みで、町独自の安全対策事業として実施。②任命者は町長。所属は子育て推進課。勤務条件通知書で児童クラブ、アフタースクール、待ち下校児童見守り支援の3つの業務を本業務としている。③旧小学校の運用を引き継ぎ実施していたが、児童や職員の負担軽減、安全性向上の観点から協議をおこない、令和8年6月1日から一斉下校を廃止した。これにより学校と児童クラブの移動回数を減らし、より円滑な運用となった。④基本的には決められた時間を守るが、それぞれ事情がある場合は、学校職員と児童クラブ職員が情報共有しながら柔軟な対応を図る。児童の所在把握と安全確保を最優先とする。⑤アフタースクールサポートブックを基準として、状況に

じて内容を見直しながら安全で効率的な運営を図る。



待ち下校の様子

Q

協働で開く新たなまちづくり実践事業

本事業は、少子

足が進む中、独創的・先駆的な新規事業だけでなく、草刈り、防災、高齢者見守り、移動支援など、地域を維持する活動も支援対象にすべきでは。

交流活動に必要な最低限の食糧費や、地域住民が担う作業への謝金・実費も、一定条件のもとで柔軟に認めるべきでは。また、団体代表者の配偶者を「構成員」とみなし、謝金を補助金対象外とした判断の理由は。

A

大月協働推進課長

本制度は公益性があり、独創的・先駆的な新たな地域づくり事業を対象とするもので、既存の定例活動や団体運営、構成員への人件費は対象外と考える。草刈りや防災、見守り、移動支援などは、それぞれ既存の補助制度や支援事業の活用が望ましい。配偶者を構成員と判断したのは、事業実施にその人の関与が大きいことから、構成員への人件費と判断し補助対象外とした。

Q

配偶者を構成員とする規則上の明確な根拠や判断基準を示されたい。町長はどう考える。

A

山本町長

今回の事業も含めて、20年以上前に作られた補助制度も多く、時代の変化により、目的や趣旨が曖昧になっている制度もある。制度全体を精査し、現在の実情に合った制度となるよう見直しを進める必要がある。



あづま えいこ
我妻 瑛子

Q

買い物施設検討は住民参加型で

A

住民参加は非常に重要

Q

どのような業種や業態、取扱商品

令和7年度吉備中央町デジタル田園都市推進事業アンケート調査においても、日常の買い物不便という回答が71・7%であったことから、買い物施設の整備が必要であるという認識に至った。

荒谷定住促進課長
平成29年度に吉備中央町買い物環境整備計画書を作成。その際のアンケートで、町に住み続けたくない理由として一番多かったのが日常の買い物不便ということ。回答者の81・1%が不便を感じていた。

Q

これまでどのように住民ニーズを把握してきたか。

A

荒谷定住促進課長

複合的な買い物施設整備が進められているが、まだまだ知られていない。町民と情報共有を図りながらニーズに応えた形になるように、また本当に必要なのかという視点も合わせて進めていくために、質問する。

A

定住促進課長

青果、鮮魚、精肉などの生鮮産品や、若い世代を中心にドラッグストアを要望する声が多いと考

えている。こういった要望に応えられるような形態のスーパーを想定している。ターゲットは大きく3つ。①町外への買い物余儀なくされていた町民②週末を中心に訪れたり、吉備中央町に通勤される岡山市ほか近隣市町の皆様③空港の乗り継ぎ待ちの間に活用するなどの県外観光客。

Q

「複合的な」買い物施設の創設に向け検討を進める、としている。具体的に何を検討されているのか、またその役割や効果をどう考えているか。

A

定住促進課長

吉備高原複合施設の建設を進める会（協議会）の中で協議をおこなっていく予定。例えば、公民館などの公共施設が入居す

Q

住民出資など合わせて、町づくりに参加し、自分たちの施設と思えるものにするのが、鍵ではないか。計画案や検討状況のHPでの公表、パブリックコメントの実施、住民の声を反映できるような意見交換ができる場を作り、町民と一緒に作るという形で進めてはどうか。

A

定住促進課長

住民参加は非常に重要な要素と考え、住民出資なども検討していきたい。

計画案はすでに協議会で検討を進めている。この内容は最終的に運営事業者を選択する入札などに用いられることから、公表は慎重に検討したい。また、住民

Q

競合により町内既存事業者の存続を危うくするのではないか。

A

定住促進課長

近隣市町の方々、観光客も視野に入れており、現在町外に流出している消費を戻すのみならず、町外からの来客増加も目指している。全体のパイを大きくしていくことで、相乗効果を目指し、競合の発生を最大限避けたい。既存の事業者の本店舗への参加や連携も可能であると考えている。



建設候補地

他、ふるさと納税、きびアプリ、町長の書類送検の質問をした。

ひな 由香
日名

Q

児童クラブ夏休み昼食支援は

A

配食サービス導入を検討中

Q

公設公営化後、利用状況や利用形態に変化は。また、どのような課題が見えてきたのか。

A

片山子育て推進課長
令和8年4月1

日現在の利用登録者数は177名であり、昨年度の178名と比較して大きな変動はない。

利用形態は、保護者の勤務形態の変化や家庭事情により退所するケースもあるが、小学校全体の児童数が減少する中でも利用者数はおおむね維持されており、児童クラブの必要性は高いと認識している。

課題は、利用児童が多いクラブにおける安全確保や見守り体制の充実が挙げられる。

Q

保護者アンケートの回収率と主な意見は。

A

子育て推進課長

135世帯中66世帯から回答があり、回収率は49%であった。

「楽しい」「安心して預けられる」「職員の対応が良

い」など、約7割の保護者から肯定的な評価をいただいている。

一方で、利用児童数が多いクラブは、見守り体制のさらなる充実を求める意見もあった。

Q

長期休業期間中（夏休みなど）のお弁当提供のアンケート結果をどう受け止めているのか。

A

子育て推進課長

長期休業中のお弁当持参には負担を感じている保護者が多く、提供があれば利用したいという意見も一定数あった。

利用頻度は「毎日利用したい」「必要な日のみ利用したい」などさまざまであったが、ニーズがあることは把握している。

現在、配食サービス事業者募集の準備を進めており、事業者が決まり次第、注文方法や料金徴収、衛生管理の協議を進めていく。

危機管理体制

Q

旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校の、現在想定している災害リスクをどのように整理しているか。

A

早川総務課長

両施設ともハザードマップ上の土砂災害警戒区域に指定されていることから、豪雨による土砂災害などを想定し、危険度を整理する必要があると考えている。

学校運営時の災害対応方



公民館防災講座

Q

本庁舎との連絡や情報共有はどのようにおこなうのか。

A

総務課長

災害時には災害対策本部と速やかに情報共有をおこない、被害状況や対応状況、避難状況、利用者の安全確保状況を一元的に把握する。

また、応援職員の派遣や物資支援が必要な場合には、地域防災計画やマニュアルに基づく受援体制により対応する。

通信障害に備え、固定電話、携帯電話、防災行政無線、電子メールなど複数の連絡手段を確保し、いづれかが使えなくなっても連絡が途絶えない体制を整備していく。

他、共催・後援の運用の質問をした。



わたなべ じゅんこ
渡邊 順子

Q 電池類の回収は

A きちんと明記して分別を

Q ごみの分別は、しっかりできていますのか。また、回収時にトラブルはないのか。

A 宮田 住民課長
ほとんどの方が正しい分別を実施していただき、感謝申し上げます。しかし、一部では分別できていないケースもある。可燃ごみの中に大きな金属片が混入し、機械の故障原因になったケースがあった。また、回収業者から「回収できません」といったシールを貼られることもある。その場合、業者から連絡が入り役場職員が確認に行く。

Q 電池は、たくさん種類がある。出し方もガイドブックによると4つに分類されている。大変ではないか。専用ボックスを設置するなど、もう少し分別や回収をやりやすいできないか。

A 住民課長
乾電池は、水銀使用と水銀不使用に分ける。水銀使用は「電池・水銀使用」水銀不使用は「電

池」と明記する。リチウム電池など充電式電池は、「充電式」と明記する。特に充電式は、発火の恐れがあるため、必ず分別をお願いしたい。回収方法は、今後研究していく。



Q ごみ全体の重量とそれにかかる経費は。資源ごみの取り扱い。

A 住民課長
経費は、過去3年で1億2900万円から1億3000万円とほぼ横ばい。資源ごみは、引き取り業者へ売払い、売り上げ収入を負担金へ反映。

R7家庭ごみの全体重量		1,830 t
内訳	可燃ごみ約80%	1,467 t
	不燃ごみ約5%	91.5 t
	資源ごみ約15%	274.5 t

生ごみ処理容器購入制度実績

令和5年度	9件	94,600円
令和6年度	17件	207,800円
令和7年度	9件	142,400円

ごみ減量化協力団体報奨金制度実績

団体数 32団体		
令和5年度	21件	629,725円
令和6年度	19件	474,410円
令和7年度	23件	389,500円



ごみの分別作業

Q ごみの減量化は課題である。生ごみ処理容器の購入費補助事業の実績と、ごみ減量化協力団体は何団体か。また報奨金は年間いくらか。

A 住民課長

Q 昨年3月に閉校した小学校の備品の引き渡し作業が町や学校関係、自治会に対して実施されてきた。しかし、まだ多くの備品が残っている。町民から、個人的に備品を希望する声もある。現状を含めて今後どうしていくか。

A 早川 総務課長
旧御北小学校においては、7月1日からプロポーザル方式により活用案を募集予定。旧大和小学校と旧上竹荘小学校は、地域による跡地活用を含めて協議中。旧津賀小学校と旧下竹荘小学校は令和8年度予算で改築予定。現在の状況を総合的に考慮しながら、残った備品のうち、価値があると思われるものは、個人などへの競売を含めた方法を検討し、手続きを進めていく。時期や詳細な方法は未定である。

閉校小学校の備品

かたおか あきひろ
片岡 昭彦

Q

電気自動車購入補助を

A

創設に向け前向きに検討

Q

①地球温暖化対策とは、人間の活動によって増えすぎた二酸化炭素などの「温室効果ガス」の排出を抑え、地球の気温上昇を食い止めるためのすべての取り組みである。ここ近年の異常気象ともいえるこの状況は、「猛烈な気候変動、自然災害」

「経済・健康被害の拡大」などと、子や孫たちにとっても多大な影響を及ぼすものである。

吉備中央町として、どのように受け止め、どのような対策を講じていくのか。

②温暖化防止に対する取り組みとして、一般家庭における、省エネルギー設備などの導入が必要と考える。

行政からの支援策として、普及促進の観点から、電気自動車（EV）の購入助成などといった支援はできないか。

A

山本町長

①吉備中央町では、令和7年度に吉備中央町地球温暖化対策実行計画（事務事業者編）を策定

している。

行政が、一事業者、一消費者として、エネルギー使用量の削減に向け、日ごろの事務・事業の中で、省エネルギーの推進、エネルギーの有効活用、廃棄物などの削減に取り組んでいく。

②国補助として、「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」制度がある。

本町において、自家用車の利用は、必要不可欠である。

今後、電気自動車の導入に対する補助金の創設に向け、町財政事情を考慮しつつ検討を進める。



電気自動車

夏休み限定

中学生向け

「議会自習室」

を開設します！

議会では、夏休み期間中に中学生を対象とした「議会自習室」を開設します。

静かで涼しい議会棟の会議室を開放し、学習に集中できる環境を整えます。また、希望者には議場見学や議員との交流の機会も設け、議会をより身近に感じてもらえるように取り組みます。

参加した生徒の皆さんが、学習だけでなく、まちづくりや議会の役割について考えるきっかけになればと考えています。

議場を見学
下さいます開催日 7月27日(月)、8月3日(月)、8月17日(月)
8月24日(月)時間 13:00～16:00 ※開催時間内は自由に入退室
できます。

場所 吉備中央町賀陽庁舎 議会棟会議室

希望者には…（保護者の見学も可能です）

- 議員と話してみよう！
- 議場ってどんなところ？

POINT

お問い合わせは議会事務局まで

☎(0866)54-2081

CHECK!

追跡

あの時の質問
どうなった？

過去の一般質問の追跡調査をおこない、進捗状況・結果を報告する。

Q 質 問(令和7年6月議会)

今年度「共通診察券」に新しく機能が追加されるが、どのようなものか。

A 答 弁

スマートフォンを持たない高齢者や年少者には、「共通診察券」を発行できなかった。今年度、家族の情報を代理登録できる機能が追加できるようになる。これによって広く町民が「共通診察券」の利便性を享受できるようになる。

現 状(企画課)

<家族情報登録機能>

住民向けポータルアプリ「きびアプリ」において、スマートフォンを持たない家族の情報登録機能及びアカウント切替機能を拡充しました。

高齢者や小さな子どもをはじめ、スマートフォンを持たない住民においても、家族の端末を活用することで健康増進や救急医療等の必要なサービスを受けることができます。

設定作業の詳細は、町公式ホームページを確認するか、吉備中央町インクルーシブスクエア（電話：0866-54-9011）までお問い合わせください。



Q 質 問(令和6年6月議会)

本年4月1日全面施行となった気候変動適応改正法。指定暑熱避難所（クーリングシェルター）の指定状況は。

A 答 弁

関係する機関との協議をおこないながら、指定に向けて検討を進める。

現 状(保健課)

暑熱避難施設（クーリングシェルター）は、令和6年7月に6か所を指定した。その後、指定施設を追加し、令和8年5月現在で公共施設8か所、民間施設1か所を指定している。今後も休憩場所を提供いただける施設を随時募集する。

熱中症特別警戒アラートが発表されたときに、あらかじめ公表している開放可能日等に開放することとしています。



- 賀陽庁舎
- ロマン高原かよう総合会館
- ロマン高原かよう図書館
- かもがわ図書館
- 吉川公民館
- 総合福祉センター
- 井原出張所
- きびプラザ
- 吉備高原Nスクエア

開放日はこちらよりご確認ください→



議会を 傍聴しませんか？

本会議は一般に公開されていますので、誰でも自由に見たり、聴いたりすることができます。皆さんの日常生活に関係のある重要な問題が審議されています。

当日傍聴席入口で、傍聴人名簿に住所・氏名などを記入するだけで、事前に予約する必要はありません。



6月定例会に足を運んで くださった方のコメント

- 初めて議会を傍聴しました。議員の方が町政について多岐にわたり考えておられる姿勢、その思いに対して行政との温度差を感じました。模範的な言葉より町民としては、町を支える側と行政と議員の熱い議論を経て町政に反映し、町政を高めて頂ければと思います。（匿名）
- 傍聴に関して
 - 1) 質問時間に制限がある為、質問議員の中には早口で読み上げの口調で聞き取りにくく、ハッキリとした口調で話せないかと感じる。
 - 2) 議員の質問に対して担当課長からはその件については検討します、しています。連絡しています。伝えています。等々一方通行な答弁が多い。（見尾保男さん）
- 大金鶏菊の答弁は納得できません。地域に密着した自治体こそ、具体的対応をするべきだ。（小倉博司さん）
- 初傍聴できたが、まず、木製の椅子が座りにくく、布地などなら良かったと思いました。（匿名）
- 現在、またはこれからの町行政の動きや方向、問題についてリアルタイムで聴けるのは議会傍聴が一番であると感じます。傍聴で感じたことを町民代表である議員に代弁してもらうことが近道であると考えます。議員さんも建設的な質問を多くしてほしいと思います。（匿名）

6月定例会の傍聴者数 延べ15人

議会だよりへの ご意見・ご感想をお寄せください

いつも「議会だより」をご覧いただき、ありがとうございます。

皆さまの声を紙面づくりやより身近な議会運営に活かしていくため、議会だよりに対するご意見・ご感想を募集しております。

ご意見・ご感想の送り方 Mail: gikai@town.kibichuo.lg.jp

いただいたご意見は、議会だよりの改善に活用し、可能な範囲で紙面にてご紹介させていただきます。皆さまからの貴重なご意見・ご感想を心よりお待ちしております。



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。毎日暑い日が続きますが、いかがが過ごしでしょうか。議会ではこの夏新たな取り組みとして、中学生を対象に「夏休み議会自習室」を開設します。多くの中学生の皆さんの参加を議員一同心よりお待ちしております。これからも開かれた議会を目指し、私たちができることはどんどんチャレンジしていきたいと思っております。皆さま、どうぞご自愛いただき、この夏を元気に乗り切りましょう。

（渡邊 順子）



町の1コマ だより

5月23日



運動会（円城こども園）

6月2日



田植え
（にこにこふたばこども園）

6月1日



コウノトリ飛来（大和地内）

6月6日



第72回岡山県消防操法大会
激励会

6月16日



地域の声を聴きました

6月7日



吉備の里ふるさと祭り 猫譲渡会

6月18日



Bar3's（ばあさんず）食堂

6月27日



大和サウンドフェスティバル

6月
25~26日



南



西



東

吉備中央町連合小学校修学旅行